

平成 28 年度 明照保育園保護者評価アンケート 自由意見・要望まとめ

○→プラスの評価 ●→要望やマイナスの評価 A→園からの回答

- いつも子どもが楽しそうに登園しており、とても嬉しく感じている。本やネットの情報より、毎日気にかけてくれている先生方のお話や連絡帳がなにより頼りになる。60周年記念誌の内容にあった『我が子のように接して下さい』の保護者の方の一文にとっても共感した。
- いつも朝～晩まで感謝している。素晴らしい先生達で明照で良かったと心から感謝している。
- 子どものことについて、不安なこと、他の子に比べて日々の行動で気になる事をできるだけ担任の先生に帰る時（お迎えの時）話しをするようにし、安心したり、関わり方を学ぶアドバイスを頂いている。自分一人で子育て、家庭内だけで子育てしているのではなく、保育園という強い協力者がいるので、本当に安心している。季節に合わせた行事、食事は子どもにとって楽しみであり、記憶にも残っているようだ。今後も引き続き行って欲しい。
- 至れり尽くせり保育して頂き感謝している。要望等、考えたが特になかった。年間行事の予定表などがあれば助かる。
- 保育士の先生方には本当にお世話になっている。体調のことから、普段の出来事まで、丁寧に教えて下さり、安心している。毎月の園日より、クラス日より、いつも楽しみにしている。自分のクラスでない先生方も、子どもの名前を覚え声をかけてくれるので、子どもはもちろんだが、親としても嬉しくありがたいと思う。
- 今まで、本当によく気を配った対応をして頂き感謝している。子どもだけでなく、親の立場にも寄り添ってくれた職員の皆様に心から感謝している。きっとこれからも地域やまわりの皆から愛される保育園になると思っている。今後も笑顔の絶えない温かい場所であってほしい。
- 毎日忙しい中、職員の皆様に丁寧に対応して頂き、とても感謝している。連絡帳で1日の様子を詳しく教えて頂くことがとても嬉しく、いつも楽しみにしている。
- いつも子どもの保育を熱心に行っている先生方には頭が下がる。楽しく保育園生活を送ることができていると感じ、大変満足している。引き続きご指導をお願いしたい。
- 朝早くから遅い時間まで、いつもお世話になり感謝している。先生方のおかげで安心して仕事をすることができている。
- いつもお世話になっている。毎日の登降園時、どの先生も笑顔で親も癒されている。特に朝、子どもを預けた後に先生から「いってらっしゃい」と言われた時は、今日も1日頑張るぞ！と元気を頂いている。お帳面も丁寧で、保育園での出来事がわかるので子どもと話す話題になる。家で言うことをきかなかつたことや困ったことを書くと、その日に先生から子どもにちゃんといけないよと教えてくれる。ちゃんと子どもがわかって帰ってきて、アドバイスをいただくことができ大変勉強になった。家で頑張ったこともお帳面で知らせると子どもを褒めて頂けるので、子どもが嬉しそうに帰ってくる。以上児になっても降園時、先生が1日の出来事を教えてくれるので、毎日話していくうちに相談しやすくなった。
- トイレトレーニングをして頂き、家でも自分から進んでトイレに行っている。時々失敗することもあるが、成功した時には成長を感じている。
- 子ども達が元気に登園して、元気に帰ってくるのが保護者の一番の願いである。
- いつもお世話になっている。「今日は保育園？ヤッター！」と、喜んで毎日登園していく子どもを見て、安心して職場に行くことができている。

その他、60周年事業への労いや日頃の感謝、今後ともよろしく願いするという声を頂きました。

行事について

- イベントが多いので楽しく参加させて頂いている。
- 毎日楽しそうに登園している。保育園での行事やイベントをととても楽しみにしている様子だ。マーチングを通して心身共にとても成長を感じた。先生方には感謝の気持ちでいっぱいだ。
- 行事等でクラスごとの席移動など工夫してもらい感謝している。ゆっくりと子どもを見られたのではないかと思う。
- 季節の行事等で子どもから楽しかった等の言葉が聞かれ保育園での様子がわかり嬉しく思う。
- おゆうぎ会では、男女の子と分かれて行ったり、以上児になるともっと人数を分けて衣装も凝っているの、先生達は教えるのが大変だろうと思う。いつも感謝している
- 年長さんだけでも良いので、横手の行事に積極的に参加してほしい。(親も一緒に)なかなか難しいとは思いますが、親も子どもとの思い出を作りたい。
- A 園としても、横手の子ども達に横手の行事を体験し成長してほしいと思います。園行事に向けた園児・職員の準備もありますので、無理のない参加方法を今後も検討してまいります。地域の子ども会に親子で参加する場合もあるかと思えます。その際は、保育園を休み参加いただいても構いません。
- 遠足は、せっかく広いところへ大勢で行くので、もう少し自由にあそべる時間が欲しいと思う。先生方も、もっと楽をしていいと思う。おゆうぎ1つでも親としては満足だ。
- A 園児全員とご家族が園外で楽しむ行事は限られています(遠足、縁日、運動会)。その中で園の行事ならではの楽しみ方を職員で考えながら行っています。今回頂いたご意見を次年度の企画の際に参考にさせて頂きたいと思えます。
- いつもお世話になっている。いつも子ども達は楽しそうに保育園へ登園している。前回のおゆうぎ会は、クラスごと時間を決めて行った。前の方で子ども達がとても見やすく良かった反面、最後のさくら組のおゆうぎでは、ホールがガラガラになっていて少しかわいそうに思った。先生方が話し合っ決めてくださったと思うが、感じたことを書かせて頂いた。
- 各クラスの時間に合わせ観覧できるのは良いが、おゆうぎ会の時は、見ている人が少なく、少しさびしい感じがあった。せっかく、子ども達が頑張っているのに見る人が少ないと残念な気持ちになるのではないかと感じた。
- A 混雑の解消案として、クラスごとの観覧を試みてきましたが、再度検討させて頂きます。

ホームページについて

- ホームページが更新されておらず機能していないのが残念に思う。専用ページ(パスワード管理)を設け、日常の様子などを見られるといいなと思う。
- ホームページの更新が年間通しても数回しかない。他の保育園は行事ごとに写真やお知らせを載せているが、明照保育園はただあるだけのホームページとしか思えない。

上記他、同様にホームページの充実を求める意見2名

- A ご不便をおかけし申し訳ありません。今後システムの一新を図る等、情報発信に力を入れていきたいと思えます。

質問1、お子様は、喜んで登園していますか？

- お友達と仲良くできなかった時に、行きたくなさそうにする時がある。

質問2、お子様は、クラスの友だちと仲良く生活できていると思いますか？

- 特定のお友達に「嫌な事を言われた」「意地悪された」とよく言っている。
- 仲間に入れてもらえない時があるようだ。

A 年齢が上がるにつれ言葉の発達とともに、お友だち同士のあそびやコミュニケーションの幅や深さが増していきます。その中で、ケンカもしながらも、いつも一緒にいるお友だちなども構成されてきます。ご家庭でお話しする一場面と園内での連続した場面を共有していくことで、ご不安は解消されると思いますので、気になることがありましたら、お聞かせください。

質問4、保育士は、お子様の園での様子や健康状態等をきちんとお伝えしていますか？

- 以上児なので、子ども自身が教えてくれる現状ぐらいで満足している。

A 以上児でも、降園時になるべく詳しく一日の様子をお伝えする努力をしていきたいと思っています。

- 対応する職員によって差がある。(2件)

A 差のない対応ができるよう努力していきたいと思っています。

- お迎えの時、こちらから聞かないと言ってもらえないことが多い。
(連絡帳等に咳・鼻水・食欲が気になり書いてあっても)

A そのような対応があったことを申し訳なく思います。直接ご家族が迎えに来て頂いている環境を、連携の充実に生かしていきたいと思っています。

質問5、保育士は、あなたのお話をよく聞いてくれていますか？

- 気軽に相談でき、対応もしっかりしてくれるので満足している。

- 話す機会があまりない。

A 例年、保護者面談を5月に一度行ってきましたが、年数回の面談機会をつくることを検討したいと思っています。

質問6、子育て全般に関する不安や悩み等を保育士に相談できますか？

- 機会がない。 ● 相談しやすい先生と、しづらい先生がいる。
- いつも大変お世話になりとても感謝している。子育てについての悩みや不安は色々尽きないが、気軽に相談できる場所や機会があればいいと思う。もしあれば情報提供等をお願いしたい。

A 育児相談につきましては、随時受け付けています(その日の担任の都合によることもありますが)。お気軽にご相談頂ければと思います。

質問11、子育てに関する情報提供に満足していますか？

- 基準がわからない。

A 情報提供について、より良い発信方法を検討していきたいと思っています。

質問12、給食・食育（行事食・離乳食・アレルギー食含む）について満足していますか？

- 小学校に行くと保育園の時の方が美味しかったと言っている。毎日栄養バランスを考えた献立で美味しく作っていただき感謝している。
- 毎日おいしい給食も食べられ感謝している。子どもが大きく育ってきているのも保育園のおかげである。これからもよろしくお願ひしたい。

● 子どもが好まないおかしの際は代替えがあるのか知りたい。

A 食物アレルギーのある子への除去食以外、基本におかしの代替えは行っておりません。未満児では、その日の体調、機嫌等でおかしを食べたがらない時もありますので、無理せず水分補給(牛乳、嫌がる場合はお茶)のみになることもあります。以上児では、好む好まないの基準が決めづらいこともありますが、食べる食べないを自分で決めて伝えるということも大切だと思います。4、5歳児ですと、その日によって伝えてくる子どもも多くなっています。

● 食育に力を入れていると思うが、月曜日のカレーやシチューのメニューは必要なのか？食べやすいメニューとはいえ、好き嫌いはあると思うので。

A ご指摘のように、子どもの好き嫌いは個々に違い、さらにその日の感情によっても違いがある場合もあり、集団生活上、それぞれに対応することは難しいです。月曜日は休日明けということもあり、ご家庭で存分に家族とふれ合った生活から、園生活に慣れて一週間を始めていく子どもたちの様子を考慮し、食べやすく食の進みも良いカレー等のメニューとしています。根菜を提供する機会でもありますので、ご理解をいただければと思います。

質問13、清掃・感染症予防など保健衛生面に満足していますか？

● 保育士のエプロンだが、色々な子ども達に接する際に衛生面で気になる。

A 排泄介助や清掃時などは、エプロンはずしています。また、食事専用エプロンの使用を検討し、今後実施していく予定です。

● 感染症が出た時はメールで連絡してほしい。(学級閉鎖の時だけでなく1人でも出た時は〇〇組で〇人インフル出た等教えてほしい)

A 子どもたちの免疫力が未熟であることや、旅先や休日中の感染など、感染経路は多岐に及び確定はできません。そのため1名出るたびの連絡は、過度な心配にもつなぐと考えます。引き続き、「保健だより」を発行するとともに、通常ではない発生数や地域の情報を参考に、必要な場合はメール配信します。玄関掲示に加え、ホームページ等を充実していくことで心配の解決につながればと思います。

● 玄関はいつもきれいで清掃がいきとどいているが、他の個所はどのような清掃・感染対策をとられているのか不明だ。

A 部屋の清掃、エアコン・ロスナイ換気扇・空気清浄機の清掃、ドア・窓（取手も）の消毒、遊具の消毒、手指の消毒などを行っています。また、感染対策についての研修を行い、実践に生かしています。

質問 1 5、保育全般に関する不満や苦情はありませんか？

● あまり変化がないため言ってもどうかなと思ってしまう。

A お話して頂くことで、私たちの考える機会となりますので、是非お聞かせ下さい。

● お便りが保護者への配慮の文章ばかりでお便りの主旨がわからない。それなりに保護者は理解していると思うので簡単に書いてもらわないと理解に苦しむ。

A わかりにくい文章であったことお詫びいたします。お願い文書については、ご理解ご協力を仰ぐ趣旨であることから、保護者様への配慮が多くなったと考えます。今後、文書作成の際、読み手に伝わりやすい記載を心がけてまいります。必要に応じて、背景・経緯の説明を記載することで、趣旨が伝わる文書もありますので、ご了承ください。

● 駐車場の利用マナーについて

- ・ 入り口近くに車があると入れない時がある。
- ・ 路上駐車が木の横に（道路中央よりに）あつて危険な時がある。

A 駐車場が狭く、日々皆様にはご迷惑をおかけしております。駐車場への進入がしづらくなる箇所への駐車は、職員駐車位置を再度見直し改善を図ってまいります。
路上駐車について、危険な駐車が見られた場合は、園で注意喚起してまいりますので職員までお声かけください。保護者同士の会話等で長時間駐車する場合は、保育園隣り九品寺境内をご利用ください。雪解け後になりますが、子ども達があそべる砂場も利用できます。

● 提出物の期間を忘れてしまうので、先生から前日にでも再度教えて頂ければありがたい。（配布された物を見ていないこともあるため）

A 未提出の方には期限が近づいた際、お知らせしていますが、当園としましては、今後小学校へと進む中で、保護者様の配布物把握はとても大切になります。配布物が多く、おいそがしい中で確認が大変なこともあるかとは思いますが、ご理解をお願いします。

● 質問 3. 5. 6について、子どもから聞いた話を（数回同じことを言うようになれば）先生には一応報告しているが、それに対しての対応はいつもだいたい同じで、話しても変化はないだろうと思ってしまう。それでも言わないでいるよりはいいかなという感じ。「様子を見るとか、見守る」との返答に、この先が見えてこない。結果仲良くやっていると言われれば、こちらは園での様子がわからないので信じるしかない。

質問 9. 10. 12. 13 に関してはよくやっていただいていると思う。子どもも給食はいつもおいしいと喜んでいる。

以前、子どもが言う話と先生の言う話がかいちがうことが何度かあった。先生は「ごめんなさい」と言っても絶対に許してくれないとか（これは先生に話したことがなく、この用紙に初めて書いた。）他にもいくつかある。（これは報告したので記入は控える）先生を信用しない訳ではないが、ある程度の歳になると子どもの話や感情も作り話ではなくなる。その相談をした時の先生の態度や返答に少し疑問をもった。先生方はプロであるから色々な経験をされていると思うが、何とも思わない言葉かけが子どもを傷つけることもあることをもう一度認識していただきたい。私も仕事をしている身であり「慣れ」は良くないと、その時、自分にも言いかけた出来事であった。

A 質問3、5、6について

説明が不足し申し訳ございませんでした。

ご家庭からの相談は担任だけでなく、園長はじめ職員間でも共有しております。様子を「みさせてほしい」「見守っていく」と園から伝える際は、ご家庭での様子、保育園内の親元を離れ集団生活をする様子を把握し、その子がどうしてそのような行動をするのか、よく理解した上で回答や対応するために必要があることです。双方の様子を理解するためにも慎重に対応しています。この度の対応について、納得のいく対応ではなかったことを知り反省しております。子ども同士の関わりは、年齢が上がるにつれ言葉の数も増え、子ども達の交流も深く大きなものになっていきます。その一つ一つの経験が子ども達の発達に結びついていると考えています。

今回の貴重なご意見を参考として、今後は連絡帳以外にも直接お話をする機会を大切にしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

質問9、10、12、13について

お子様含めご不快な思いをさせ申し訳ございませんでした。

ただ、子ども達が成長したことで、保育園の様子を自分でご家庭に伝えている場面を考えると嬉しく思います。子ども達のことを考えますと、1つの場面の説明において、お話が得意な子であっても、前後の背景やお友達同士の流れがあり、そのようになった経緯までとなると、難しい場合があります。

保育園の生活を考えますと、保育士としてこの年齢には、保育目標である「明るく・正しく・仲良く」を心にもった素直な子に成長してほしいという想いがあります。そのため、このことは学んでほしいと真剣に諭す時や、お友達の命や自分自身の命も大切にしないような危険につながる行為を見かけた場合には、特に厳しく向き合う時があります。

対応として「怒る」と「叱る」は違うもので、瞬間の感情を発散する「怒る」という方法は子ども達への学びは薄く、怒られたという記憶しか残りません。なぜいけないのか理解させる「叱る」という基本を大切に保育に携わっております。保育士として仕事をする上での多くの経験がより良い保育に結びつくよう、職務にあたってまいります。ご意見ありがとうございました。